

野村日本国債部分ラダーファンド (野村SMA・EW向け)

運用報告書(全体版)

第2期（決算日2024年12月6日）

作成対象期間（2024年6月7日～2024年12月6日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2024年2月16日以降、無期限とします。	
運用方針	野村日本国債部分ラダーマザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、わが国の国債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目標に運用を行なうことを基本とします。投資するわが国の国債は原則として残存期間が10年～15年程度の国債とします。	
主な投資対象	野村日本国債部分ラダーファンド（野村SMA・EW向け）	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	わが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村日本国債部分ラダーファンド（野村SMA・EW向け）	外貨建資産への投資は行ないません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行ないません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 込 配	期 騰 落 率			
(設定日) 2024年2月16日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 20
1期(2024年6月6日)	9,774	0	△2.3	99.1	—	1,284
2期(2024年12月6日)	9,747	0	△0.3	98.9	—	4,332

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	率		
(期首) 2024年6月6日	円 9,774	% —	% 99.1	% —	
6月末	9,661	△1.2	99.0	—	
7月末	9,672	△1.0	98.8	—	
8月末	9,842	0.7	98.7	—	
9月末	9,895	1.2	99.0	—	
10月末	9,844	0.7	98.7	—	
11月末	9,753	△0.2	98.9	—	
(期末) 2024年12月6日	9,747	△0.3	98.9	—	

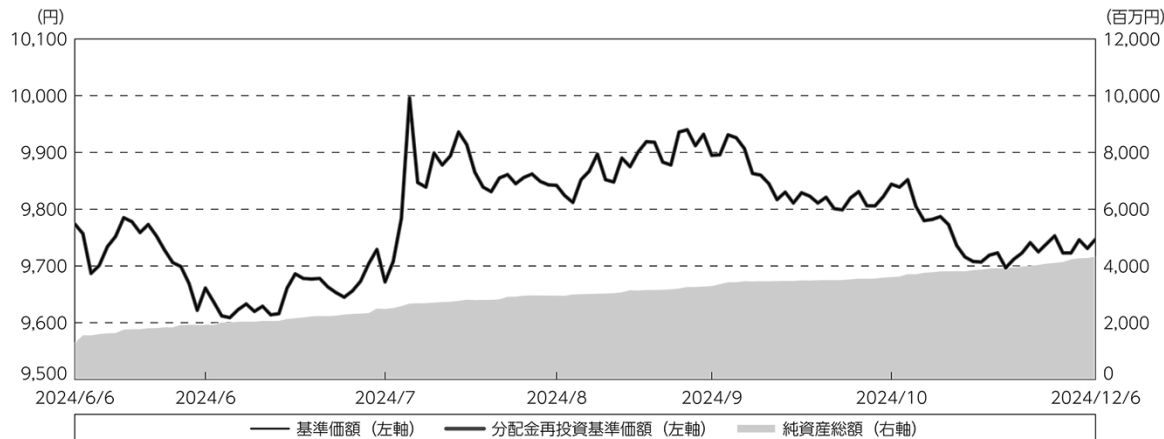
*騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：9,774円

期末：9,747円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 0.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2024年6月6日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

- (上昇) ・保有する債券から利息収入を得たこと。
- (下落) ・保有する日本国債の利回りが上昇（価格は下落）したこと。

○投資環境

国内債券市場では、8月に米国国債利回りが低下（価格は上昇）した影響などを受けて日本国債利回りは低下しましたが、その後は米国国債利回りが上昇したことや、植田日銀総裁の講演等を材料に早期の追加利上げが意識されたことなどを背景に日本国債利回りは上昇し、当作成期を通して、日本国債利回りは上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村日本国債部分ラダーマザーファンド]

主要投資対象である日本国債を高位に組み入れ、残存10年から15年程度のラダー型ポートフォリオを維持しました。

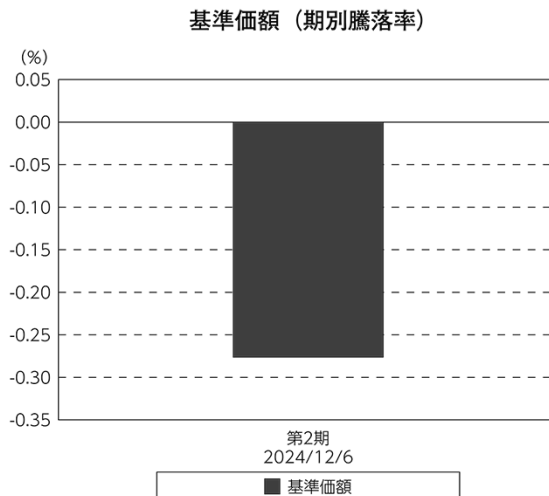
[野村日本国債部分ラダーファンド（野村SMA・EW向け）]

主要投資対象である[野村日本国債部分ラダーマザーファンド]受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンドを通じ、主として残存10年～15年程度の日本国債に投資し、残存構成が概ねラダー型になるよう運用しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案して、次表の通りとさせていただきます。
なお留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第2期
	2024年6月7日～ 2024年12月6日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	27

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

〔野村日本国債部分ラダーマザーファンド〕

主要投資対象の日本国債の組み入れを高位に保ち、ラダー型ポートフォリオを維持します。

〔野村日本国債部分ラダーファンド（野村SMA・EW向け）〕

主要投資対象である〔野村日本国債部分ラダーマザーファンド〕受益証券の組み入れを高位に維持します。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年6月7日～2024年12月6日）

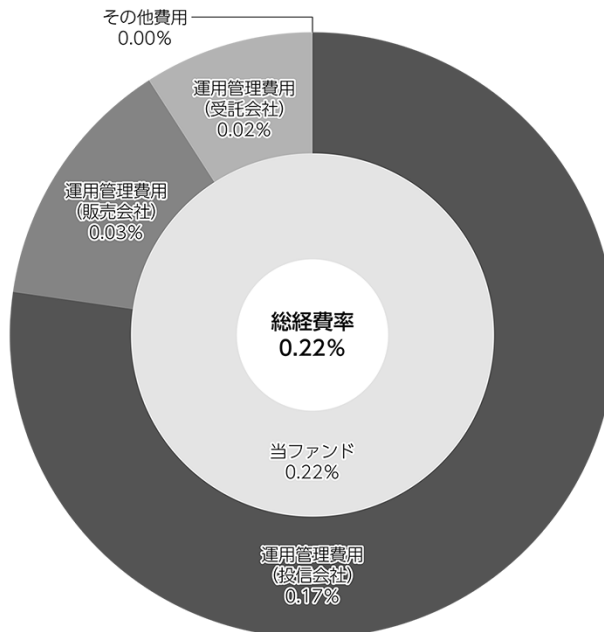
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 11	% 0.110	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(8)	(0.083)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(2)	(0.017)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.011)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	11	0.111	
期中の平均基準価額は、9,777円です。			

- * 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.22%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年6月7日～2024年12月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村日本国債部分ラダーマザーファンド	千口 3,139,938	千円 3,073,149	千口 23,903	千円 23,580

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月7日～2024年12月6日)

利害関係人との取引状況

<野村日本国債部分ラダーファンド（野村SMA・EW向け）>
該当事項はございません。

<野村日本国債部分ラダーマザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
公社債	百万円 3,328	百万円 490	14.7	百万円 298	百万円 -	-

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2024年6月7日～2024年12月6日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 20	百万円 -	百万円 -	百万円 20	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2024年12月6日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村日本国債部分ラダーマザーファンド	千口 1,312,946	千口 4,428,981	千円 4,324,014

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村日本国債部分ラダーマザーファンド	千円 4,324,014	% 99.7
コール・ローン等、その他	11,974	0.3
投資信託財産総額	4,335,988	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年12月6日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,335,988,800
コール・ローン等	11,974,151
野村日本国債部分ラダーファンド(評価額)	4,324,014,571
未収利息	78
(B) 負債	3,265,622
未払信託報酬	3,233,349
その他未払費用	32,273
(C) 純資産総額(A-B)	4,332,723,178
元本	4,445,210,692
次期繰越損益金	△ 112,487,514
(D) 受益権総口数	4,445,210,692口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,747円

(注) 期首元本額は1,314,628,663円、期中追加設定元本額は3,238,034,953円、期中一部解約元本額は107,452,924円、1口当たり純資産額は0.9747円です。

○損益の状況（2024年6月7日～2024年12月6日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	9,215
受取利息	9,215
(B) 有価証券売買損益	△ 9,736,377
売買益	210,664
売買損	△ 9,947,041
(C) 信託報酬等	△ 3,265,622
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 12,992,784
(E) 前期繰越損益金	629,097
(F) 追加信託差損益金	△100,123,827
(配当等相当額)	(2,385,496)
(売買損益相当額)	(△102,509,323)
(G) 計(D+E+F)	△112,487,514
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△112,487,514
追加信託差損益金	△100,123,827
(配当等相当額)	(3,975,573)
(売買損益相当額)	(△104,099,400)
分配準備積立金	8,083,789
繰越損益金	△ 20,447,476

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2024年6月7日～2024年12月6日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2024年6月7日～ 2024年12月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	7,454,692円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	3,975,573円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	629,097円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	12,059,362円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	27円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

- ①投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。
＜変更適用日：2024年7月4日＞
- ②設定解約の申込受付締め時間の規定を変更する所要の約款変更を行ないました。
＜変更適用日：2024年11月5日＞

野村日本国債部分ラダー マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日2024年12月6日）

作成対象期間（2024年2月16日～2024年12月6日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の国債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目標に運用を行なうことを基本とします。投資するわが国の国債は原則として残存期間が10年～15年程度の国債とします。
主な投資対象	わが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資は行ないません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	落中率			
(設定日) 2024年2月16日	円 10,000		% -	% -	% -	百万円 19
1期(2024年12月6日)	9,763		△2.4	99.1	-	4,324

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落中率		
(設定日) 2024年2月16日	円 10,000		% -	% -	% -
2月末	10,038		0.4	98.9	-
3月末	10,029		0.3	99.2	-
4月末	9,864		△1.4	99.2	-
5月末	9,644		△3.6	99.0	-
6月末	9,665		△3.4	98.9	-
7月末	9,680		△3.2	99.0	-
8月末	9,854		△1.5	98.9	-
9月末	9,908		△0.9	99.2	-
10月末	9,859		△1.4	98.9	-
11月末	9,769		△2.3	99.1	-
(期末) 2024年12月6日	9,763		△2.4	99.1	-

*騰落率は設定日比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

- (上昇) ・ 保有する債券から利息収入を得たこと。
- (下落) ・ 保有する日本国債の利回りが上昇（価格は下落）したこと。

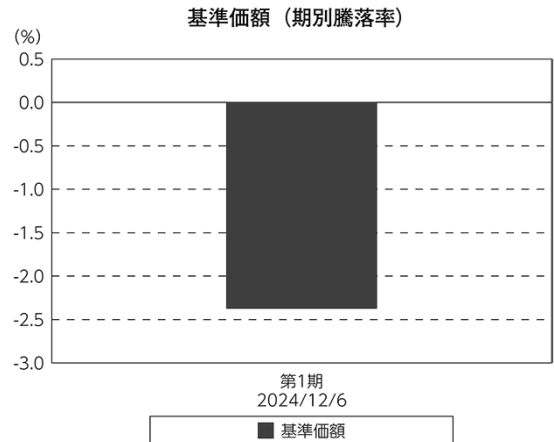
○当ファンドのポートフォリオ

主要投資対象である日本国債を高位に組み入れ、残存10年から15年程度のラダー型ポートフォリオを維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として残存10年～15年程度の日本国債に投資し、残存構成が概ねラダー型になるよう運用しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

主要投資対象の日本国債の組み入れを高位に保ち、ラダー型ポートフォリオを維持します。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2024年2月16日～2024年12月6日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年2月16日～2024年12月6日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 4,625,280	千円 322,284

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月16日～2024年12月6日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$	
公社債	百万円 4,625	百万円 908	% 19.6	百万円 322	百万円 23	% 7.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2024年12月6日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国債証券	千円 4,650,700	千円 4,283,221	% 99.1	% -	% 99.1	% -	% -	
合計	4,650,700	4,283,221	99.1	-	99.1	-	-	

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利	当 期		末	
		率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券		%	千円	千円	
国庫債券 利付 (20年) 第151回	1.2	215,100	217,730	2034/12/20	
国庫債券 利付 (20年) 第152回	1.2	214,700	216,881	2035/3/20	
国庫債券 利付 (20年) 第153回	1.3	213,800	217,629	2035/6/20	
国庫債券 利付 (20年) 第154回	1.2	208,600	209,801	2035/9/20	
国庫債券 利付 (20年) 第155回	1.0	213,000	209,359	2035/12/20	
国庫債券 利付 (20年) 第156回	0.4	229,300	210,242	2036/3/20	
国庫債券 利付 (20年) 第157回	0.2	245,500	218,752	2036/6/20	
国庫債券 利付 (20年) 第158回	0.5	238,000	218,769	2036/9/20	
国庫債券 利付 (20年) 第159回	0.6	232,400	215,251	2036/12/20	
国庫債券 利付 (20年) 第160回	0.7	229,200	213,960	2037/3/20	
国庫債券 利付 (20年) 第161回	0.6	228,400	209,705	2037/6/20	
国庫債券 利付 (20年) 第162回	0.6	236,500	216,222	2037/9/20	
国庫債券 利付 (20年) 第163回	0.6	234,800	213,628	2037/12/20	
国庫債券 利付 (20年) 第164回	0.5	239,500	214,048	2038/3/20	
国庫債券 利付 (20年) 第165回	0.5	236,000	209,811	2038/6/20	
国庫債券 利付 (20年) 第166回	0.7	235,200	213,954	2038/9/20	
国庫債券 利付 (20年) 第167回	0.5	238,400	209,794	2038/12/20	
国庫債券 利付 (20年) 第168回	0.4	253,600	218,866	2039/3/20	
国庫債券 利付 (20年) 第169回	0.3	258,600	218,581	2039/6/20	
国庫債券 利付 (20年) 第170回	0.3	250,100	210,229	2039/9/20	
合 計		4,650,700	4,283,221		

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年12月6日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比	評 価 額	率
公社債	千円 4,283,221	% 97.7		
コール・ローン等、その他	101,729	2.3		
投資信託財産総額	4,384,950	100.0		

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年12月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,384,950,286
コール・ローン等	91,718,147
国債証券(評価額)	4,283,221,366
未収利息	7,313,532
前払費用	2,697,241
(B) 負債	60,893,496
未払金	60,893,496
(C) 純資産総額(A-B)	4,324,056,790
元本	4,428,981,431
次期繰越損益金	△ 104,924,641
(D) 受益権総口数	4,428,981,431口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,763円

(注) 期首元本額は19,980,000円、期中追加設定元本額は4,432,904,947円、期中一部解約元本額は23,903,516円、1口当たり純資産額は0.9763円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・野村日本国債部分ラダーファンド(野村SMA・EW向け) 4,428,981,431円

○損益の状況 (2024年2月16日～2024年12月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 受取利息等収益	11,292,733
受取利息	11,292,754
支払利息	△ 21
(B) 有価証券売買損益	△ 19,774,487
売買益	3,843,174
売買損	△ 23,617,661
(C) 当期利益(A+B)	△ 8,481,754
(D) 追加信託差損益金	△ 96,766,403
(E) 解約差損益金	323,516
(F) 計(C+D+E)	△104,924,641
次期繰越損益金(F)	△104,924,641

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。

<変更適用日：2024年7月4日>